

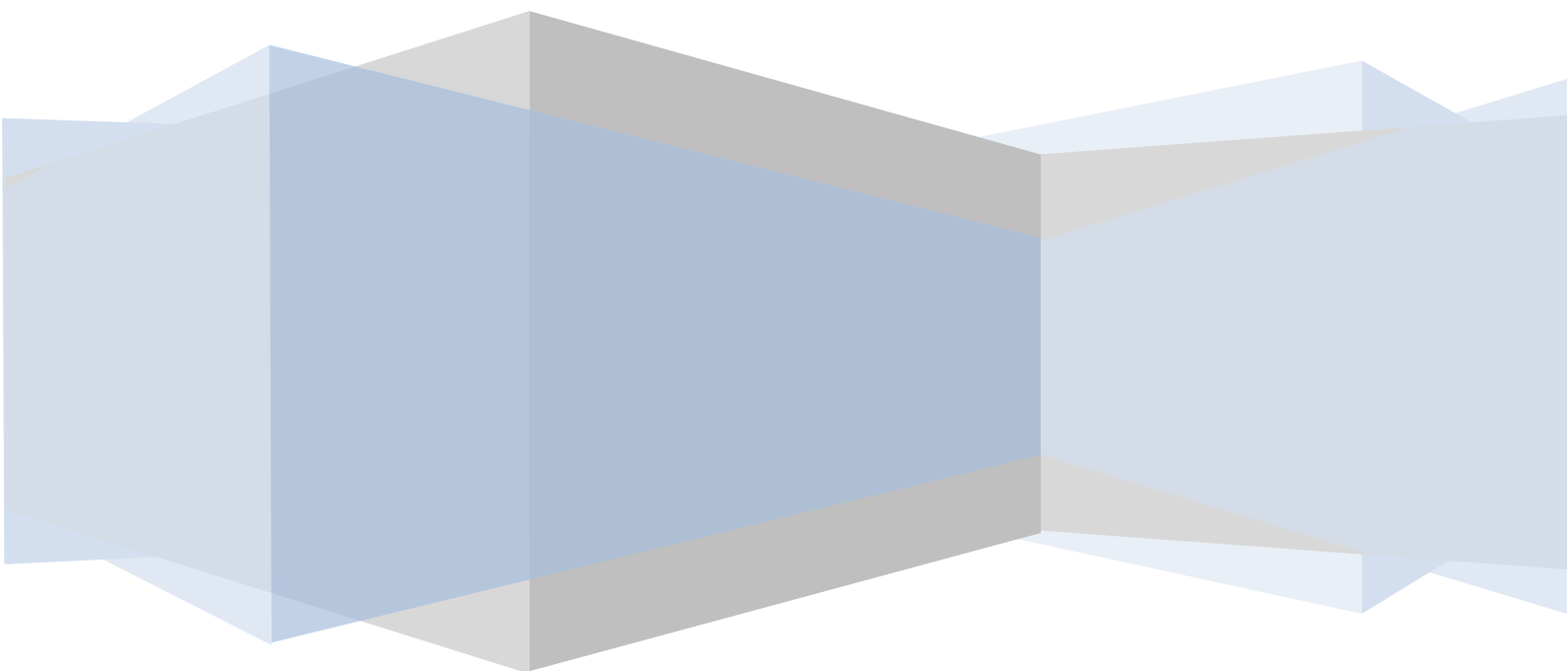
特定非営利活動法人 神奈川シニア自然大学校

(案)

平成 27 年度事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日



平成 27 年度 事業報告書

[平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日]

特定非営利活動法人 神奈川シニア自然大学校

1 総括報告

平成 27 年度入門コースは 11 名でスタートしたが、新聞記事を見ての問い合わせが相次ぎ、14 名での実施となった。天候にも恵まれ、大きな事故や怪我なく終了した。

専科コースは、「森林生態科」「野鳥科」「里山保全科」と分けて実施した。単発参加も可能としたため、都合に合わせて参加しやすい、との声があった。期を超えての交流という点では、修了生による同期会は各期で行われてきたが、期を超えての「同窓会」を初めて実施した。1 期生が中心となって企画・運営をしてくださった。

公開講座は、修了生の企画を中心として実施した。募集には課題が残るが、企画の内容や案内などは概ねよい評価を頂いている。

運営にあたっては、昨年度に引き続き、NPO 法人やまぼうし自然学校のスタッフによるバックアップをいただいたほか、ビギナー講座及び入門コースの修了生のうち 3 名にサポートスタッフとして関わっていただいた。

2 組織概要（平成 28 年 3 月 31 日現在）

- 名 称：特定非営利活動法人 神奈川シニア自然大学校
- 所在地：神奈川県横浜市都筑区見花山 1-30 見花山ビル 3F
- 役 員：理事長 佐藤初雄 理事 6 名 監事 1 名
- 会員数：正会員 10 名 一般会員 59 名
- 事務局スタッフ：
 - ・事務局長 高柳香菜
 - ・やまぼうし自然学校 石川順子、山口久基
 - ・国際自然大学校 林田吉司
 - ・サポートスタッフ（修了生）久野正樹（1 期）、大橋泰雄（2 期火）、原田治（4 期）

3 運営に関する事項

3-1 総会の開催

(1) 通常総会

日 時 平成 27 年 5 月 28 日（木）11：00～12：00
会 場 NPO 法人国際自然大学校 本部 2F
議 事 事業報告及び決算報告／事業計画及び収支予算

3-2 理事会の開催

日 時 平成 27 年 5 月 28 日（木）10：00～11：00
会 場 NPO 法人国際自然大学校 本部 2F
議 事 事業報告及び決算報告／事業計画及び収支予算

3-3 運営会議

運営に関する事項の報告、検討、決定を行うため、理事および運営に直接関わるスタッフが集まり、下記のとおり運営会議を開催した。

日 程	内 容	場 所
10月26日(月)	次年度方針、広報戦略	NPO 法人国際自然大学校本部

3-4 ウェブページ

ホームページは、月2回以上の更新、ブログは、実施後3日前後で更新を行っている。2015年度に問い合わせのあった方47名のうち、18名(38%)が、ホームページの申込みフォームからの連絡という状況。対外的な情報発信ツールとして、より信頼され、かつ連絡しやすい状況を作るためにも、こまめな更新ときめ細やかな対応が必要になる。

ブログの更新にあたっては、修了生に全面的な協力をいただいた。今後も長くサポートを続けていただくためにも、このような裏方の動きに対して、謝金を支払う体制をとっていきたい。

3-5 ニュースレター

会員向けの情報発信ツールとして、2015年度に、ニュースレターを3回発行した。修了生の活動紹介やイベント情報などを掲載した。

ブログ同様、修了生に全面的な協力をいただき、発行することができた。

相応の対価を支払える体制づくりをしていくことが課題である。

4 事業に関する事項

4-1 環境活動を行う人材の育成事業

4-1-1 入門コース

シニア層に対して自然環境をテーマとした学びの機会を提供するとともに、自然体験活動の指導者を養成するため、入門コースを実施した。カリキュラムは従来のをベースにし、満足度も高く、確立されてきている。

- ・ 期間、会場、内容は、次頁表を参照
- ・ 受講者 14名（男性7名、女性7名）
- ・ 受講料 60,000円（全員、通年割引適用）

《受講生内訳》

【年代別内訳】

	H23		H24		H25		H26		H27	
60歳未満	1	6%	2	6%	2	25%	1	13%	0	0%
60～64歳	8	47%	14	44%	4	50%	1	13%	3	21%
65～69歳	6	35%	11	34%	2	25%	4	50%	8	57%
70歳以上	2	12%	5	16%	0	0%	2	25%	3	21%
合計	17	100%	32	100%	8	100%	8	100%	14	100%

【地域別内訳】

	H23		H24		H25		H26		H27	
横浜市	13	76%	14	44%	3	38%	4	50%	6	43%
川崎市	2	12%	4	13%	4	50%	2	25%	3	21%
海老名市	0	0%	3	9%	0	0%	0	0%	0	0%
藤沢市	0	0%	2	6%	0	0%	0	0%	2	14%
平塚市	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
大和市	0	0%	2	6%	0	0%	0	0%	0	0%
伊勢原市	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
相模原市	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
厚木市	0	0%	3	9%	0	0%	1	13%	0	0%
鎌倉市	0	0%	1	3%	1	13%	0	0%	1	7%
逗子市	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	7%
横須賀市	2	12%	0	0%	0	0%	1	13%	0	0%
県外	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	7%
合計	17	100%	32	100%	8	100%	8	100%	14	100%

＜特記事項および課題＞

- ・ 聴講生（ビギナー講座修了生の参加）は、延べ 16名であった。
- ・ 第16回で実施した「里山と文化～日本の食文化 発酵食のススメ」をシニア自然大学全国協議会向け公開講座とし、東京シニア自然大学から3名の参加があった。
- ・ 第17回「野鳥観察入門」および第18回「森林保全入門」を体験講座とし、それぞれ、6名、4名参加があった。入門コースを受講する予定はないが、体験講座のみ受講するという方もいる。



【写真】 H27 入門コースの様子

《カリキュラム》

	日程	分野	講座内容	講師	会場	
1	4/14(火)	総論	開講式、受講ガイダンス ～自然と親しむための自然観察入門～	NPO法人やまぼうし自然学校 理事	丹野 雅之	黒川野外活動センター
2	4/28(火)	野外活動	野外活動入門(1) ～アウトドアで役立つサバイバル術～	川崎市黒川野外活動センター 所長	野口 透	黒川野外活動センター
3	5/12(火)	地球	地層・地形観察 ～百万年の自然史を触って確かめよう～	神奈川県立生命の星博物館古生物ボランティア/元神奈川県立元石川高等学校長	内野 哲	生田緑地
4	5/26(火)	植物	植物入門(1) ～森のしくみ、木の役割～	全国森林インストラクター神奈川会	菅原 啓之	座間谷戸山公園
5	6/9(火)	生物	海の生き物観察 ～真鶴海岸で相模湾の豊かさに触れる～	NPO法人ディスカバーブルー	水井 涼太	真鶴町立遠藤貝類博物館/三ツ石海岸
6	6/23(火)	野外活動	野外活動入門(2) ～五感で学ぶ ネイチャーゲーム体験～	NPO法人国際自然大学校 校長	藁谷 久雄	黒川野外活動センター
7	7/15(水)	植物	植物入門(2) ～知られざる きのこの不思議～	全国森林インストラクター神奈川会	内野 郁夫	舞岡公園
8	9/15(火)	自然科学/ 地球	地球史 ～生命誕生の歴史と生物多様性～	神奈川県立生命の星地球博物館	博物館学芸員	神奈川県立生命の星地球博物館
9	9/29(火)	生物	森の生き物観察 ～脈々と続く いのちのつながり～	東京学芸大学名誉教授	北野 日出男	黒川野外活動センター
10	10/6(火)	植物	森里海連環学 ～葉山で森と海のつながりを感じる～	NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター 代表理事	海野 義明	葉山
11	10/20(火)	里山文化	里山と文化(1) ～里山と私たちのくらし～	NPO法人よこはま里山研究所 主任研究員	吉武美保子	新治里山公園
12	11/6(金)	野外活動	野外活動入門(3) ～秋の味覚 自然の恵みでアウトドアクッキング～	川崎市黒川野外活動センター 所長	野口 透	黒川野外活動センター
13	11/17(火)	植物	植物入門(3) ～紅葉のしくみと植物の生存戦略～	全国森林インストラクター神奈川会	(未定)	生田緑地
14	12/8(火)	地球	気象学入門 ～風はなぜ吹くのか 気象の原理と神奈川の地域性を知る～	横浜国立大学教育人間科学部 准教授	筆保 弘徳	山手234番館 横浜地方气象台
15	12/22(火)	里山文化	里山と文化(2) ～自然クラフト体験 しめ飾りをつくる～	NPO法人やまぼうし自然学校 理事	丹野 雅之	黒川野外活動センター
16	1/19(火)	里山文化	里山と文化(3) ～日本の食文化 発酵食のススメ～	川崎市黒川野外活動センター 所長	野口 透	黒川野外活動センター
17	2/2(火)	生物	野鳥観察入門 ～身近な野鳥の不思議な世界～	公財)日本野鳥の会 主席研究員	安西 英明	横浜市自然観察の森or長浜公園
18	2/16(火)	里山文化	森林保全入門 ～森に手を入れるということ～	川崎市黒川野外活動センター 所長	野口 透	黒川野外活動センター
19	3/8(火)	植物	植物入門(4) ～早春の草花たち～	全国森林インストラクター神奈川会	菅原 啓之	四季の森公園
20	3/15(火)	総論	インタープリテーション入門 修了式	NPO法人やまぼうし自然学校 理事	丹野 雅之	黒川野外活動センター

4-1-2 専科コース

修了生に更なる学びの機会を提供するため、ステップアップ講座を「専科コース」と改称し、開講した。ニーズを踏まえ、【森林生態科】【野鳥科】【里山保全科】の3科を設定した。

①森林生態科

- ・期間、会場、内容は、下表を参照。
- ・受講者 全6回申込 19名（男性9名、女性15名）、単発申込 8名
- ・受講料 全6回18,000円、単発参加1回につき3,500円
- ・講師 全国森林インストラクター神奈川会

回	日程	テーマ	講師	会場	全6回申込 受講者	単発申込 受講者
1	4月9日 (木)	季節の花を追い求めて (1)春のスマイルを中心に	内野郁夫氏	寺家ふるさとの村 (横浜市青葉区)	19名	2名
2	5月14日 (木)	奥深いシダの世界に迫る	内野郁夫氏	新治市民の森 (横浜市緑区)	18名	なし
3	6月11日 (木)	木を観る～葉っぱからの アプローチ	菅原啓之氏	県立三ツ池公園(横 浜市鶴見区)	18名	3名
4	7月9日 (木)	木を観る～樹皮からのア プローチ	菅原啓之氏・ 久野正樹氏	大倉山～獅子が谷市 民の森	13名	3名
5	9月10日 (木)	森の消費者・分解者～ク モから森を考える	内野郁夫氏・ 菅原啓之氏	舞岡公園(瀬上市民の 森から変更)	16名	3名
6	10月8日 (木)	季節の花を追い求めて (2)秋の菊を中心に	田中真次氏・ 菅原啓之氏	四季の森公園(茅ヶ崎 里山公園から変更)	15名	3名

<特記事項および課題>

- ・第4回は、雨のため、当日朝の欠席が3名あった。
- ・第5回、第6回は、下見の結果、会場を変更して実施した。会場を設定する前に、テーマと一致しているか、会場までのアクセス、座学会場などを吟味しておく。
- ・20名以上になると、インストラクター1名では声が聞こえづらいという声が挙がったため、第4回以降は野外観察については講師2名体制で対応して頂いた。

②野鳥科

野鳥にテーマを絞り、生態や生息環境について理解を深める。

- ・期間、会場、内容は、下表を参照
- ・受講者 全3回申込 13名（男性7名、女性6名）
- ・受講料 全3回7,000円、単発参加第1回のみ、3,500円、第2回・3回2,500円
- ・講師 全国森林インストラクター神奈川会

回	日程	テーマ	講師	会場	全3回申込 受講者	単発申込 受講者
1	12月10日 (木)	水辺の野鳥観察(河川・ 湖沼編)	中澤均氏、 松井浩二 氏	泉の森(大和市)	13名	1名
2	1月21日 (木)	水辺の野鳥観察(河口・ 海岸編)		多摩川河口	11名	1名
3	2月25日 (木)	里山の野鳥観察		県立相模原公園(相 模原市)	13名	1名

<特記事項および課題>

- ・講師2名体制で実施していただき、天候にも恵まれたため、毎回30種を超える野鳥を観察することができた。
- ・河原は風が強いので、体調管理等で注意が必要。
- ・夏の野鳥観察を希望する声もあった。

③里山保全科

修了生が各地域で保全活動を実践していくことを念頭に、里山保全の基礎を体験から学ぶ。

- ・期間 平成27年4月2日～平成28年3月3日（全11回）
- ・場所 川崎市黒川青少年野外活動センター
- ・内容 安全管理、刃物のメンテナンス、草刈、植樹、ロケットストーブ作り、土留め、間伐、竹クラフト、焼き芋、炭作り ほか
- ・受講者 全11回申込 8名（男性6名、女性2名）単発申込 5名
（参加人数 延べ 72人）
- ・受講料 全11回9000円、単発参加1回につき1000円

<特記事項および課題>

- ・ゆるやかに、お楽しみも加えながら（スイーツや竹細工作りなど）保全活動を行うことができた。

4-1-3 図鑑プロジェクト

修了生が主体となって活動を続ける場、および、これまでの学びを活かした実践活動の形として、プロジェクトを実施している。2015年度内に16種の自然観察ガイドが完成した。黒川の受付に提示してあるほか、今後実施するイベントにて活用していく。

次年度に向けて、川崎市黒川青少年活動センターにおける「黒川自然観察ガイド」の作成をめざす。

- ・期間 平成27年4月22日～平成28年3月23日（月1回程度で活動）
- ・場所 川崎市黒川青少年野外活動センター
- ・参加者 9名（男性3名、女性6名）

4-1-4 公開講座

当校の認知度を向上させるため、また、修了生および一般向けに更なる学びの機会を提供するため、7回の公開講座を開催した。黒川青少年活動センターで行う講座を同センターとの共催事業とし、運営および広報を行った。

講師には森林インストラクターの資格を取得した修了生を積極的に登用して活躍の場を提供する。

<特記事項および課題>

- ・ランチ付きが人気。ランチ会場の予約開始日を待つと広報期間が短くなる。
- ・公開講座受講者から、2016年度入門コースへの参加につながった方は2名であった。
- ・修了生の中で講師ができる人材を増やしていく。

日程	内容	会場	講師	参加費 (L=ランチ)	参加者数	定員	備考
6月18日(木)	西鎌倉シークレットゾーンを訪ねて	鎌倉台峯周辺	久野正樹氏・飯河正氏	Lあり6000円、Lなし3000円	20名(会員17名、一般3名)	20名	会員(および家族友人)限定で実施。
10月1日(木)	西鎌倉シークレットゾーンを訪ねて	鎌倉台峯周辺	久野正樹氏	Lあり6000円、Lなし2500円	12名(会員3名、一般9名)	15名	レストラン予約の関係で実施日を変更したためCXLが多数出た。実質21名申込み。
12月4日(金)	根岸の丘に横浜の歴史遺産を訪ねる	山手～根岸	久野正樹氏	L付5000円	28名(会員12名、一般16名)	30名	
1月28日(木)	横浜の歴史の足跡が残る山手・本牧の丘と国の名勝「三溪園」を訪ねて	根岸～三溪園	久野正樹氏	L付6000円	7名(会員4名、一般3名)	15名	
2月1日(月)	鎌倉自然観察会～東慶寺めぐり～	鎌倉	大橋康雄氏、鈴置慎二氏	Lあり5000円、Lなし2000円	16名(会員2名、一般14名)	30名	2期生がスタッフとして8名参画。
2月19日(金)	味噌づくり	黒川青少年野外活動センター	野口透氏	1500円	19名(会員7名、一般12名)	30名	黒川青少年野外活動センター味噌づくりキャンセル待ちの方に参加を促した。
3月23日(水)	自然観察会、よもぎ団子づくり	黒川青少年野外活動センター	二期会、野口透氏	500円	15名	20名	2期生がスタッフとして8名参画。

4-1-5 受託事業

神奈川県立三ツ池公園からの依頼を受け、自然観察会指導を行った。

日程	内容	会場	講師	参加者数	備考
11月28日(土)	紅葉観察会	三ツ池公園	久野正樹氏	中止	事前申し込みにしたが、集客できず、中止。
2016年2月27日(土) 13-15時	早咲き桜と冬芽観察会	三ツ池公園	久野正樹氏	7名	オリジナルスプーン、フォーク作りもあわせて実施した。

4-2 実践活動

4-2-1 谷戸田保全活動

ビギナー講座の修了生有志が、H24年度から『新治谷戸田を守る会』（横浜市緑区）の活動に参画している。今年度も有志が会員登録をし、通年の谷戸田での活動を通して、里山の保全に関わった。

4-2-2 川崎市黒川青少年野外活動センターでのボランティア活動

同センターにて実施しているイベントへのボランティアを募集し、参画した。黒川は遠いという声もあり、各自のフィールドにて活躍の場を生み出していく必要がある。

・ボランティア人数 延べ 15名

（内訳：8月4日流しそうめん 3名、12月13日おもちつき 7名、

1月13日 栗木台小学校里山保全授業のサポート 5名）